

2014年度(第24期) 貸借対照表

岡山県備前市久々井字沖1775番地の1
岡山大鵬薬品株式会社
 代表取締役社長 仁木 達也

貸借対照表

(2014年12月31日 現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	4,643,594	流動負債	777,554
現金及び預金	3,618,198	買掛金	682,125
売掛金	703,202	未払金	37,184
製品	142,501	未払法人税等	50
仕掛品	2,605	未払消費税	33,392
原材料及び貯蔵品	167,338	賞与引当金	14,397
繰延税金資産	6,513	その他	10,404
その他	3,234		
固定資産	803,595	固定負債	66,930
有形固定資産	655,732	退職給付引当金	65,397
建物	280,315	役員退職慰労引当金	1,533
建物附属設備	146,656		
構築物	7,597	負債合計	844,485
機械及び装置	201,099	純資産の部	
車両運搬具	2,044	株主資本	4,602,972
工具器具及び備品	18,017	資本金	50,000
無形固定資産	67,248	利益剰余金	4,552,972
ソフトウェア	66,323	利益準備金	12,500
電話加入権	924	その他利益剰余金	4,540,472
投資その他の資産	80,615	別途積立金	4,430,000
投資有価証券	3,779	繰越利益剰余金	110,472
繰延税金資産	25,164	評価・換算差額等	△ 267
差入保証金	47,126	その他有価証券評価差額金	△ 267
その他	4,545	純資産合計	4,602,705
資産合計	5,447,190	負債・純資産合計	5,447,190

(個別注記表)

1. 記載事項は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

① 商品、製品、仕掛品、原材料 :

総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定)

② 貯蔵品

先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 15～50年

機械及び装置 13年

② 無形固定資産

定額法によっております。

ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(研究開発用のものは3年、その他のものは5年)に基づく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

② 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

なお、過去勤務債務については、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により、按分した額を費用処理しております。数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により、按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理することとしております。役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

③ 役員退職慰労引当金

(4) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

3. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 2,490,684千円

4. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

未払事業税否認額

△210千円

法人税法上の繰延資産償却限度超過額

377千円

賞与引当金損金算入限度超過額

5,298千円

棚卸資産評価損

673千円

退職給付引当金

24,066千円

役員退職慰労引当金

564千円

その他

751千円

繰延税金資産合計

31,521千円

5. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 4,602.71円

(2) 1株当たり当期純利益 103.60円